

巻頭言

本巻には、特集テーマ「里山基盤科学技術の社会実装モデルプロジェクト2024」に関する3編の論文と、4編の一般研究論文が掲載されています。特集論文は、2014年に立ちあげた「里山プロジェクト」の成果報告ですので、プロジェクトの活動内容と着実な進展をご理解いただけるものと思います。一般研究論文は、本学の志願者数の予測に関する報告、家計調査の食消費データを経営学視点から分析したケーススタディ、そして高知県の小中学校の学校現場に関する研究報告となっております。

本巻の記事を通じて、本学の活動の一端を知っていただければ幸いに存じます。

さて、本学の紀要につきましては、諸般の事情により、本巻をもちまして終刊とさせていただきますこととなりました。

本紀要は、通常の研究論文集ではなく、本学の教育や地域貢献を含む大学全体の活動や存在意義等を広く社会に発信する媒体として、2004年3月に第1巻が発刊されました。爾来、21年余の歳月が流れ、この間に掲載された記事の総数は452件に上ります。これらの記事には、時代の変化に合わせて柔軟に進化し続けてきた本学の特色や強みが随所に込められていると自負しております。

発刊初期の頃は、本学設立の背景や趣旨や、教員評価制度や教育講師制度のような本学の特徴的な取り組みの紹介等も掲載されました。その後、様々な特集テーマが組まれたり、委員会からの依頼論文や海外研修の報告記等も掲載されたりするなど、紀要委員会の時宜を得た工夫のお陰で、学外の方々に“本学の姿”を知ってもらえたと思っております。

今後は、国内外の学会発表の場や学術雑誌等を積極的に活用することで、引き続き、本学の研究、教育、社会貢献活動を、より迅速かつ効果的に情報発信してまいります。

終わりに、紀要委員会委員、執筆者、編集作業ご担当の職員をはじめ、長年にわたりご支援くださった関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

学長 蝶野成臣

高知工科大学紀要

目次

特集 里山基盤科学技術の社会実装モデルプロジェクト 2024

1. 2 番池から南西部既存池における木灰コンクリートを用いた水路および里道の施工
秋山 将太郎, 伊藤 祐太郎, 恩藤 慎太郎, 川添 峻平, 篠原 由樹, 細川 昌樹,
高木 方隆, 村井 亮介
2. 放置竹林における竹の「資材化」と「利用拠点」の設計・施工
遠藤 壮真, 大西 竜司, 山下 由乃, 村井 亮介, 高木 方隆
3. 里山研究フィールドにおける飲料水確保手法の構築
池田 陽, 池本 千馬, 犬塚 健斗, 村井 亮介, 高木 方隆

研究論文

4. 有効志願者層数と学力水準範囲に基づく志願者数変動の予測と検証
～2017 年以降の 8 年データでの検証と現状分析および適用の将来的終焉～
篠森 敬三
5. 家計調査（加工食品）・品目別支出金額 1 位の 2 つのケースに関する考察
大原 高秋
6. コミュニティ・スクールと学校運営協議会の活性化と教育経営構造の革新に関する一
考察～高知県内のコミュニティ・スクールと学校運営協議会の事例研究を中心に～
中村 直人, 立田 理紗
7. 国語の学力と数学的文章題における意味理解の関係性に関する一考察
中村 直人, 織田 佳乃子

Kochi University of Technology Research Bulletin

Contents

Feature Articles

Activity Reports on Implementation of Science and Technology for “Satoyama” 2024

1. Construction of Waterways and Satoyama Paths Using Wood Ash Concrete in the Area from Pond No. 2 to the Existing Pond in the Southwest
Shotaro Akiyama, Yutaro Ito, Shintaro Ondo, Ryohei Kawazoe,
Yoshiki Shinohara, Masaki Hosokawa, Masataka Takagi, Ryosuke Murai
2. Bamboo Resource Utilization and Hub Development in Abandoned Bamboo Forests
Soma Endo, Ryuji Onishi, Yoshino Yamashita, Ryosuke Murai,
Masataka Takagi
3. Development of a Sustainable Drinking Water Procurement Method in the Satoyama Research Field
Haru Ikeda, Kazuma Ikemoto, Kento Inuzuka, Ryosuke Murai,
Masataka Takagi

Research Articles

4. Prediction and Verification of Changes in the Number of Applicants Based on the Number of Effective Applicants in a Matched Class Group to the University and the Range of Academic Ability — Verification using 8 years of data from 2017 onwards, analysis of current situation and the future end of application —
Keizo Shinomori
5. Discussions on Two Cases where the Amount of Processed Foods Expenditure Ranks First in the Household Survey
Takaaki Ohara
6. A Study on Revitalization of Community Schools and School Management Councils and Innovation of Educational Management Structure
Naoto Nakamura, Risa Tateda
7. A Study of the Relationship between Academic Skills in the Subject of Japanese and Comprehensive Understanding in Math Word Problems
Naoto Nakamura, Kanoko Oda